

# えんど久子県議ら 県民の願い実現めざし

## 来年度に向け大分県に195項目を要望

### 県下の党市議らと共に 県民の声を届け実現迫る

日本共産党大分県委員会と地方議員団は、来年度の県の予算に活かそうと、9月26日に195項目の「2026年度予算要望書」を佐藤知事に提出。

10月20日に文書回答を受け、えんど久子県議（別府市）・堤栄三県議（大分市）は、県下の市議や団体みなさんと共に県と協議しました。2班に分かれ、県の総務部・福祉保険部・教育委員会・土木建築部など9部局と午前10時～午後4時まで話し合いました。

毎年この要望と協議を重ね、少しずつ改善し実現してきました。

### 消費税減税は県民の願い

知事の文書回答では「消費税の廃止、減税は慎重であるべき」と、大分県は国への働きかけの意思はありません。参加者は「物価高で暮らしは厳しく、参議院選挙で全ての野党が消費税減税を公約した」と話し、大分県は県民の立場に立ち消費税減税やインボイス制度廃止を国に働きかけるべきだ、と主張しました。

えんど久子県議は「四国への橋やトンネルは知らない。今回要望した県民の切実な願い実現にこそ税金と労力を使うべきだ」と訴えました。



挨拶する林田澄孝党大分県委員長（中央）。その左はえんど久子県議。県委員長の右は堤栄三県議。

県議会委員会室にて 2025.10.20.

## 日本共産党 県政ニュース

発行 日本共産党大分県議団  
大分県議会議員 えんど久子

TEL・Fax 097-537-2344

No. 82

2025.10.28.

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください

えんど久子県議 日本共産党市議らと共に県に要望

# 暮らし 福祉 医療 介護を守るため

## 国の負担増やし

## 国保税の引き下げを

県民が国保税が高くて困っている問題について「国保税を引き下げるには国の負担増額がカギだ。国庫負担の増額を強く働きかけを」と要求。

県は「引き続き全国知事会を通して国に要望していく。R11年度を目標に保険料を統一する際に、県の基金約98億6000万円を保険料を上げないために使うよう考えたい」などと回答しました。

## 訪問介護の報酬アップを

介護報酬が引き下げられ、訪問介護事業所の運営が厳しいため、介護報酬上げを要望。介護・福祉スタッフの処遇改善については「求めているのは加算ではない」と、えんど県議らは基本給アップを求めました。

県は「次の定期改定を待たずに介護報酬の臨時改定等の措置を講じるよう、国に要望している。訪問介護

事業所の経営状況を把握するため、報告してもらっている途中だ」

「処遇改善については、基本報酬に組み込むなど、恒久的な措置を講じるよう全国知事会を通じて国に要望している」という主旨の回答でした。



奥の左から白石徳明国東市議、えんど久子県議、美馬きょうこ別府市議、荒木ひろ子中津市議ら。手前は県職員。

美馬市議は、看護師や介護職員の資格取得の支援策拡充などを求めました。

大分県議会の委員会室にて 2025. 10. 20.

## 市町村ごとに違う就学援助制度

低所得世帯に小中学生の学用品費や修学旅行費などを援助する就学援助制度。クラブ活動費は日田市や宇佐市では対象になるが別府市では対象外など、市町村ごとに援助費目や対象者に違いがあり、拡充を要望しました。県教委からは、今後も国に補助金増額を働きかける旨の回答がありました。